令和6年度 学校関係者評価書

宇和島市立三浦小学校

1 確かな学力の定着と向上（必須）

- ICT機器の積極的・効果的な活用は、子どもたちの学習意欲を高めたり学習内容の理解を促したりしていることが推察される。
- 学校訪問時、児童や教職員の方々に挨拶等、気持ちよく対応してもらっている。
- 学習発表会では、子どもたちの個性豊かな様子が見られて楽しませていただいた。
- 地域との共生に積極的に取り組まれていると思う。
- 学校が地域とのいろいろな取組に積極的に活動していただけるのでありがたい。
- 単なる本を読むことだけが読書ではない。スマホアプリ等を使って、デジタル媒介の本を読むことでも本に親しむことにつながるのではないか。
- 読書活動の充実という点で、児童と保護者の評価が低い。学校での読者活動の様子及び読書の大切さを、より一層家庭に広めていく必要がある。

2 生徒指導の充実（必須）

- 登下校時、元気な挨拶が進んでできている。日頃からの学校の指導が効果的である。
- ここ数年、児童の自己肯定感、自己有用感の評価が低い結果であったが、今回の評価では高くなっている。行事等の様子からも、一人一人が自信を持って活動している成果である。
- アンケート結果から、子どもたちや保護者は学校生活に満足している様子が分かる。今後も笑顔あふれる学校を目指して、定期的な学校生活アンケートや教育相談の実施により、いじめや不登校等の早期発見、早期対応に努めてもらいたい。
- ◇ 最近、SNS等を使って事件に巻き込まれる事案が多い。小学生の時期から、正しい情報を取捨選択できる力を身に付けてほしい。

3 働き方改革（必須）

- アンケート結果から、業務改善に向けての教職員の意識改革の高まり、管理職を中心とした適切な業務管理・運営の推進を感じることができた。
- 職員の業務改善に対する意識が高まり、仕事に対して組織的に取り組んでいることが分かった。
- ◇ 学校における働き方改革は、何か一つをやれば解決するという特効薬があるわけではないため、小さな取組を積み重ねることが必要である。また、業務に優先順位をつけて精選を進めていくことも必要である。学校や地域の実情を踏まえながら、働き方改革がより一層推進されることを望んでいる。

4 地域との連携（必須）

- 学校ホームページや毎月配布される学校だよりを見て学校の様子がよく分かる。毎回、楽しみにしている。
- 自治会や学校応援ボランティアを中心に、通学路の清掃、校舎周辺美化を熱心に行い、児童により環境になっていると思う。
- 地域と学校合同の防災訓練が実施できた。今後も、災害時の「自助、共助」を大切にして、有意義な訓練となるようにしていきたい。
- 地域と学校の連携がとれており、行事についても、地域との協力関係ができており、毎回よいものであると感じる。
- 児童数の減少に伴い、今後より一層、地域住民に多方面にわたって協力してもらわないといけない状況になる。令和8年度統合に向けて、行事等で、計画的な運営を進めていきたい。

5 その他

- 総合的な面からみて先生や子どもたちもよくやっていると思う。三浦小学校も残すところ後1年で淋しい気持ちでいっぱいである。
- 学校運営協議会において、校長先生の様々な行事、課題に対するお考えを伺い、熱意を感じた。
- ◇ 子どもたちにとって大切なものは何かを考え、体験できることを提案していきたい。